

## 「日本応用地質学会 令和5年度研究発表会」にて研究成果を発表しました

2023年10月5日～6日、秋田県（あきた芸術劇場ミルハスおよびオンライン）で一般社団法人日本応用地質学会 令和5年度研究発表会が開催されました。

当日は口頭発表が93編、ポスター発表が46編、合計139編の発表が行われ、当社からは口頭発表2編、ポスター発表2編を行いました。発表には地質技術者や研究者から多くの関心が寄せられ、質疑応答の時間には活発な議論が交わされました。

発表種別 【セッション名】	著者名（○は発表者）	論文題目
口頭発表 【測量・計測(1)】	○後藤和幸、片山輝彦、藤森研治 (事業推進本部 技術開発室)	斜面崩壊監視用傾斜・土壌水分同時観測システムの開発
	○萩真次(国際推進室) 廣瀬義純(中部支社)	ダム基礎岩盤における孔壁展開画像を用いたルジオン試験結果の解釈
ポスター発表 【地形・地質一般】	○市来政仁(土壌環境事業部) ○花川和宏(原子力バックエンド事業部) 熱田真一(土壌環境事業部)	上総層群大船層のテフラの分布と化学組成の比較
ポスター発表 【環境地質】	○熱田真一(土壌環境事業部) 太田岳洋(山口大学)	地球化学標準試料データを用いた自然由来重金属溶出機構の熱力学解析試算

当社は、今後も保有技術のさらなる向上・発展を図りながら、応用地質学に関する調査・研究の推進に貢献してまいります。

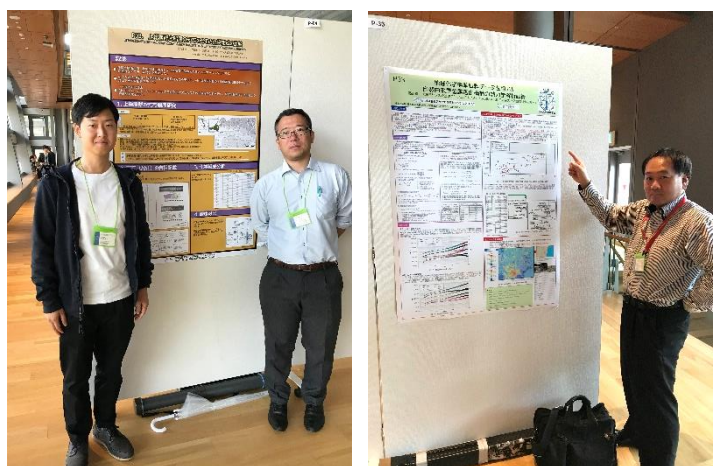
以上



後藤（口頭発表）



萩（口頭発表）


 市来、花川  
(ポスター発表)

 熱田  
(ポスター発表)

＜本資料に関するお問い合わせ先＞  
 株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング  
 TEL:03-5246-4150  
 URL: <https://www.atk-eng.jp/>  
 経営管理本部 吉田・太田